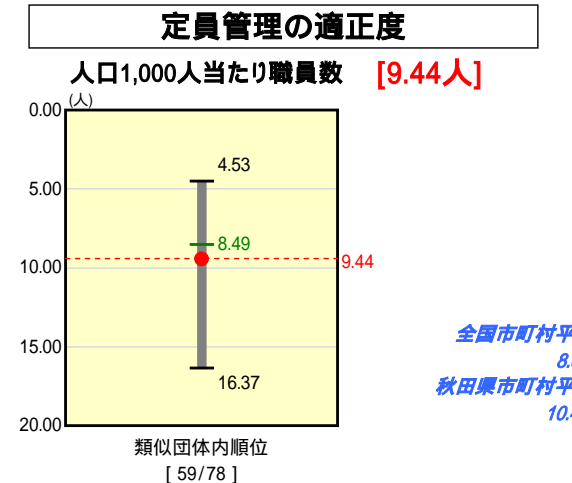
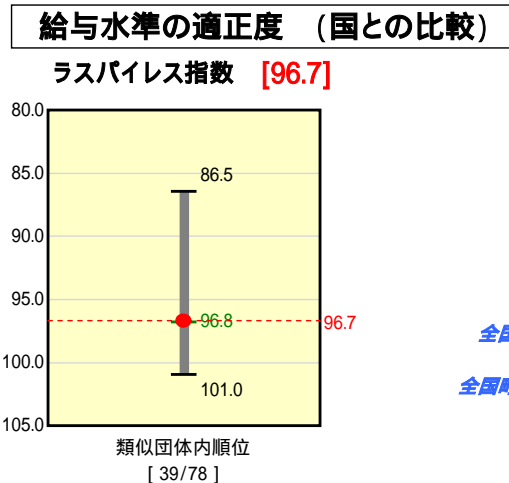
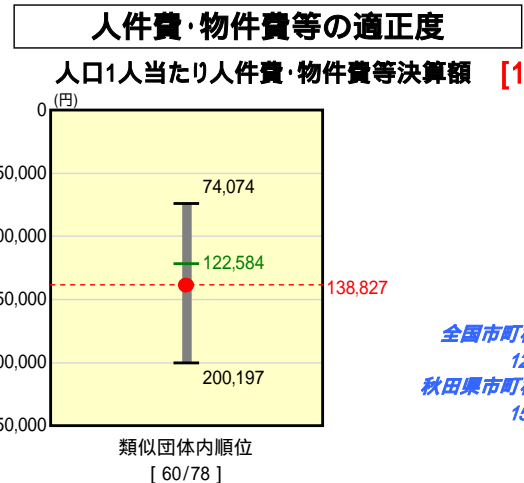
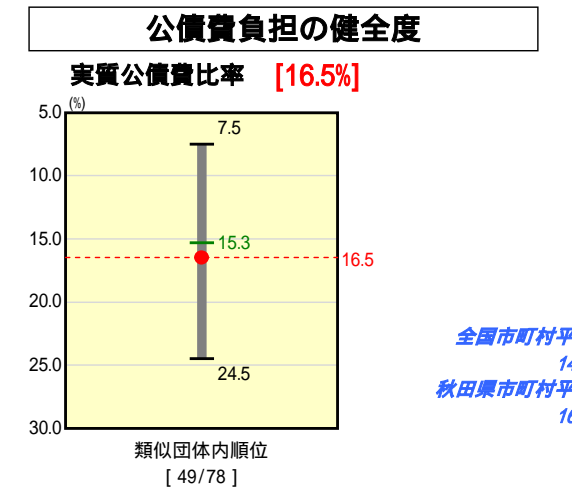
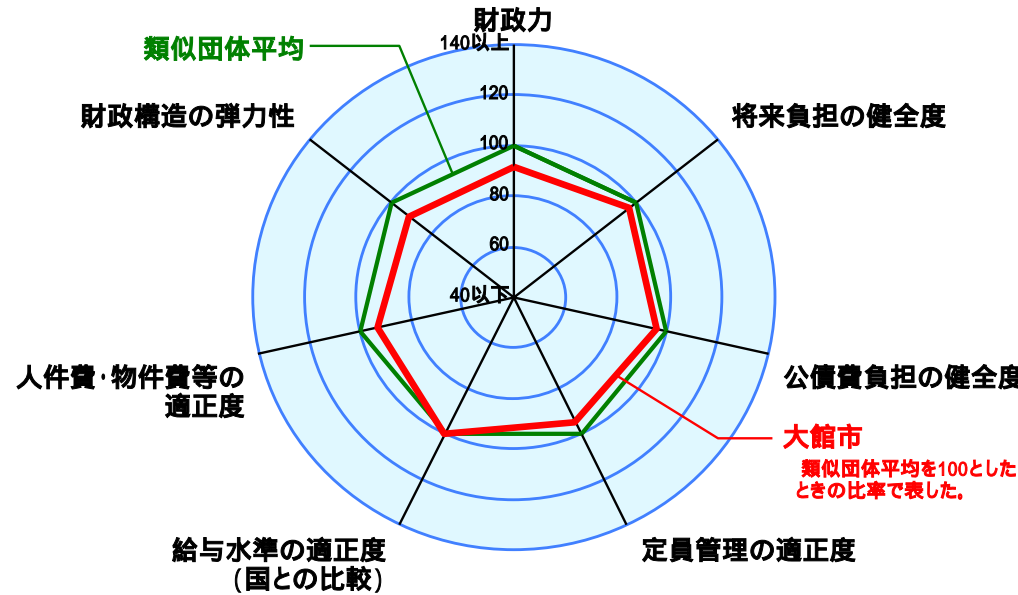
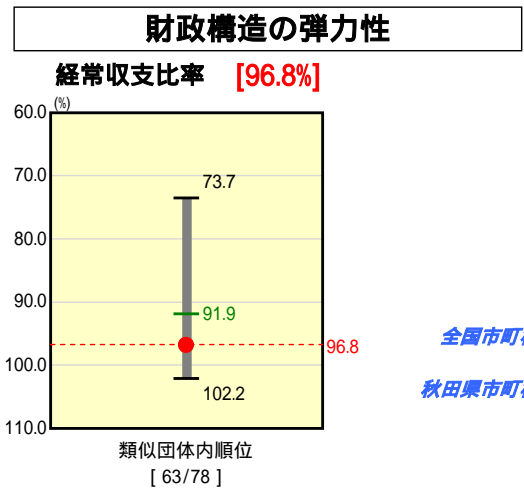
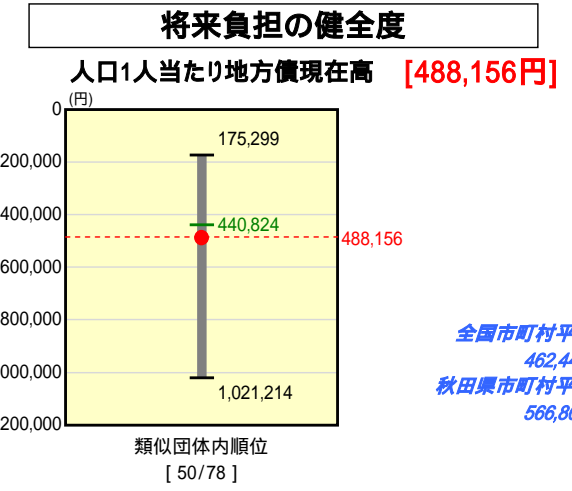
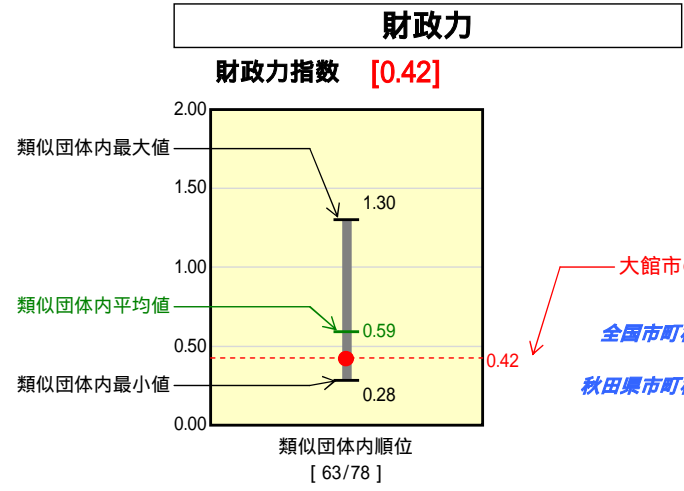


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

秋田県 大館市

人口	84,148人	(H18.3.31現在)
面積	913.70	km ²
歳入総額	33,059,742	千円
歳出総額	32,489,811	千円
実質収支	562,610	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力指数
長引く景気低迷と、人口の減少、高齢化の進展のため、税収の微減傾向が続いている。全国平均より下回っており、今後とも債権管理委員会を通じた全庁的な滞納対策を行うなどして、収納率の向上を図る一方、人件費の抑制を行うことで、歳出面の改善を図っていく。

経常収支比率
96.8%と全国平均、県内平均を上回っており財政の硬直化が進んでいる。これは過去の普通建設事業の償還費がピークを迎えていること、また高齢化により扶助費が増加していることなどによるが、今後は職員数を4年間で100人程度削減すると共に施設の統廃合を行い(幼稚園と保育所の統合、小学校の統合等)人件費、物件費の抑制を行っていく。

実質公債費比率
16.5%と全国平均、県内平均を上回っており、普通会計及び企業会計を含め、適債事業の優先度や内容を精査し、計画的な借入を図っていく。

人口1人当たり地方債現在高
県内平均より下回っているが、全国平均よりも上回っており、今後事業の選別を図ると共に、大規模起債事業は重複しないような事業計画を策定し、起債の抑制と平準化を図る。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
県内平均より下回っているが、17年度合併により決算額が増加したことにより、全国平均を上回った。今後、職員数の適正化や各施設の統廃合等による維持補修費の削減など、歳出面の改善を図る。

ラスパイレス指数
現在は全国平均を下回る96.7%となっているが、さらに各種手当の見直しを図っていく。

人口1,000人当たり職員数
9.44人と、県平均を下回っているが、全国平均を上回っており、一般行政職等職員数を適正定員に近づけるため、22年度当初までに114人以上の職員を削減する。